

2024年5月19日聖霊降臨節第1主日礼拝次第

ペンテコステ礼拝（聖霊降臨日）

前奏（黙想）

招きの言葉 エゼキエル書37章4～5節（旧約1357㊦）

讚美歌 346（来たれ、聖霊よ）

主の祈り <C>（讚美歌93-5）

詩編交読 詩104編24～30節（交読詩編118㊦）

聖書 使徒言行録2章1～11節（新約214㊦）

祈禱

讚美歌 342（神の霊よ、今くだり）

説教 「故郷の言葉を」 田中雅弘牧師

讚美歌 81（主の食卓をかこみ）1～2節

聖餐

讚美歌 81（主の食卓をかこみ）3節

信仰告白 使徒信条<B>（讚美歌93-4）

献金

讚美歌 88（心に愛を）

派遣祝福

後奏（黙想）

報告 ※讚美歌は、原則として全節を歌います。

聖書 使徒言行録2章1～11節

聖霊が降る

1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。4 すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。7 人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。8 どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。9 わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、11 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もおり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」

主の祈りC（讚美歌21 93-5-C

司式者）天の父

一同）わたしたちの父よ、

み名があがめられますように。

あなたの国が来ますように。

みこころが天と同じく地でも行われますように。

きょうのパンを きょうお与えください。

わたしたちの負い目をおゆるしてください。

わたしたちも負い目をゆるし合います。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

かえって悪からお救いください。

国も力も栄えも、限りなくあなたのものです。アーメン

讚美歌346番

- 1 来たれ聖霊よ、信ずる群れに、  
絶えず働きて 命をたまえ。  
主イエスのころを ころとなして  
ゆたかなみ恵み、たたえよ、つねに。
- 2 強き聖霊よ、信ずる群れに、  
今も働きて 力をたまえ。  
罪にとらわれし ころをきよめ、  
ゆたかな賜物、与えよ、つねに。

讚美歌81番

讚美歌81番

- 1 主の食卓を囲み、  
いのちのパンをいただき、  
救いのさかずきを飲み、  
主にあつてわれらはひとつ。  
マラナ・タ、マラナ・タ、  
主のみ国がきますように。
- 2 主の十字架をおもい、  
主の復活をたたえ、  
主のみ国を待ち望み、  
主にあつてわれらは生きる。
- 3 主の呼びかけにこたえ、  
主のみことばに従い、  
愛のいぶきに満たされ、  
主にあつてわれらは歩む。

讚美歌88番

心に愛を 豊かにみだし  
日ごとのわざに つかわしたまえ

讚美歌342番

- 1 神の霊よ、今くだり  
わが心 動かして  
弱き身を 強くなし  
愛に歩ませたまえ。
- 2 主なる神 愛せとの  
みことばに 従いて  
主の十字架 仰ぎつつ  
み旨を示したまえ。
- 3 主よ、共に とどまりて  
疑いと 争いの  
わが心 うちくだき  
力を与えたまえ。
- 4 主の深き 愛をもて  
わが心 燃え立たせ  
魂も身も献げ  
愛に生かしたまえ。